

令和元年度

事業報告書

自 平成31年 1月 1日

至 令和元年12月31日

公益財団法人 馬事文化財団

目 次

I 根岸競馬記念公苑における事業	1
1 馬の博物館の事業	1
(1) 展示イベント概要	1
(2) 常設展示	3
(3) 馬事博物資料等の調査・研究	4
(4) 馬事博物資料等に関する印刷物の編集および刊行	4
(5) 馬事博物資料の収集	4
(6) 資料の貸出	4
(7) 資料の管理・保管	5
(8) 特別イベント	5
(9) 馬に関する講演会等	6
(10) 他館等との交流	7
(11) 日本中央競馬会主催の研修への参加	7
(12) 外国人観光客への対応	7
(13) その他の協力	7
2 馬展示事業	8
(1) 馬の展示	8
(2) ふれあいイベント	8
(3) 春秋特別イベント	9
(4) きゅう舎管理等	10
3 馬文化の保存	10
(1) 馬事伝統行事保存事業	10
(2) 在来馬種保存事業	10
4 施設の管理運営および公苑の整備	11
5 入館者・入苑者	11
II JRA 競馬博物館の事業	12
1 展示および調査・研究	12
(1) 展示イベント概要	12
(2) 競馬場等の展示イベントへの協力	14
(3) 常設展示機器等	15
(4) 馬の学び舎ミュージアム・ホール	15
(5) 競馬博物資料等の調査・研究	17

(6) 競馬博物資料の収集	17
(7) 資料の管理・保存	17
(8) ワークショップ等普及イベント	17
2 案内業務および入館者	22
III 競馬振興会館（Gate J.）の事業	23
1 Gate J. 新橋の事業	23
2 Gate J. 梅田の事業	23
3 入館者	24
IV 広報活動	24
1 馬の博物館	24
2 JRA 競馬博物館	25
3 Gate J. 新橋・梅田	26
V JRA 賞馬事文化賞候補作品の情報収集	26
VI 寄附金・募金の受入れ状況	26
VII 庶務	28
1 評議員に関する事項	28
2 役員等に関する事項	28
(1) 役員	28
(2) 参与	28
(3) 職員および組織図	28
3 評議員会および理事会	29
(1) 評議員会	29
(2) 理事会	29

令和元年度 事業報告

令和元年度においては、当財団定款第4条の目的を達成するため、事業計画に基づき根岸競馬記念公苑・馬の博物館をはじめとする財団各施設等において様々な事業を実施しました。

I 根岸競馬記念公苑における事業

1 馬の博物館の事業

(1) 展示イベント概要

年間展示スケジュールのとおり、第2および第3展示室において、秋季企画展、写真展およびテーマ展を開催しました。

展示期間	展示タイトル		展示場所
H30. 12. 8 ～2. 11	写真展	馬頭観音像～道端の守り神の魅力～	第2展示室
	テーマ展	競馬レトロポスター展 —地方競馬・西日本編—	第3展示室
2. 16～ 5. 12	写真展	彩—サラブレッド	第2展示室
	テーマ展	かわいい馬たち	第3展示室
5. 18～ 7. 21	テーマ展	馬の「解体新書」	第2展示室
	テーマ展	競馬レトロポスター展 —地方競馬・東日本編—	第3展示室
7. 27～ 9. 29	テーマ展	馬にこめられた願い	第2展示室
	テーマ展	モンゴルの生活と日本	第3展示室
10. 5～ 12. 8	秋季 企画展	名馬と武将	第2、第3 展示室
12. 14～ 12. 24	テーマ展	馬の彫刻家・三井高義石膏原型展	第2展示室
	テーマ展	中川コレクション—刀装具に描かれた『馬のおはなし』—	第3展示室

①秋季企画展

秋季企画展は『名馬と武将』を開催しました。日本の在来馬は速く走ることよりも、重量のある物品を搬送することが主な仕事とされており、その特徴を生かしたのが、合戦で馬を利用する武士や、商品を輸送する商人たちなどです。本展では、源平合戦での名馬に関する文学作品を始め、南北朝から戦国時代にかけての東日本の重い甲冑と西日本の軽い甲冑、平安時代から江戸初期までの武士が使用した馬具、神奈川県にゆかりのある武将の肖像画など52点を展示し、武家文化と馬文化の関係を紹

介しました。特に甲冑については、一般社団法人日本甲冑武具研究保存会の会員にご協力をいただきました。

また関連イベントとして、記念講演会「神奈川ゆかりの武将たち」（11月17日）や、日置流印西派弓術に伝わる実戦弓術と弓道体験（11月30日）、名古屋城おもてなし武将隊による演武と展覧会紹介（12月1日）を実施し、歴史学者による専門的な知識、古式武道の体験、わかりやすい戦国史など多岐にわたる歴史紹介を実施しました。

②写真展

- ・『馬頭観音像～道端の守り神の魅力～』は、江戸時代以降街道筋に造立された石仏の馬頭観音に魅せられた栗田直次郎の写真展を開催しました。約70点の写真は、様々なタイプの馬頭観音が被写体となっており、来館者が興味深く鑑賞できるよう、タイプ別に分類して展示しました。
- ・『彩 サラブレッド』は、人間が創り出した最高の芸術品といわれるサラブレッドの魅力に惹きこまれ、追いつける10名の写真家の逸品を各々4点ずつ、計40点を出展していただきました。また、10名のうち5名が撮影されたJRA制作「ヒーロー列伝」等のポスターと当館所蔵のミスターシービーやトニービン等の著名馬のブロンズ像を展示し、平面の素晴らしい写真やポスターと、立体の馬像を並べることで、サラブレッドの魅力を多面的に演出しました。

③テーマ展

- ・『競馬レトロポスター展 ー地方競馬・西日本編ー』は、西日本地域の14競馬場に加えて、地元の神奈川県において1950年（昭和25年）に制作された地方競馬ポスターを中心に展示しました。これらのポスターは、競馬場の存在と開催日を広く告知することを目的に制作されましたが、デザイン的にも優れており当時の関係者の熱意が垣間みえる展示となりました。
- ・『かわいい馬たち』は、当館所蔵品のなかから、「かわいい」をキーワードに馬にまつわる様々な資料や作品を紹介しました。古代の出土品に見られる素朴なかたち、絵巻に描かれた生き生きした姿、浮世絵や根付のユーモアあふれる個性的な表現、民芸品やキャラクターなどに見られる“ゆるさ”など、「かわいい」の感じ方は多様ですが、人々の馬を大切に思う気持ちや馬への親しみを込めた「かわいい」という切り口から、時代や分野を超えて見えてくる馬の様々な表現や人々との関わりを特集しました。
- ・『馬の「解体新書」』は、当館が所蔵する江戸時代の馬医書をパネル展示し、当時の人びとが陰陽五行説にもとづいて馬体を理解していたことを紹介しました。また、腸結石や治療道具・薬など、馬医書のほか

にも多様な資料をあわせて紹介することで、馴染みのない東洋医学の世界に親しみをもっていただけるような展示構成としました。

- ・『モンゴルの生活と日本』は、日本人にとって馴染み深い『スーホの白い馬』や、遊牧民の食住や彼らを支えた家畜馬との共生、最大の行事「ナーダム」、そして日本との関係の一端を紹介しました。かつて遊牧民族が騎馬技術を駆使し、帝国が築かれたモンゴルの地では、古くから牧畜が生業として営まれてきました。特にウマは、広い草原地帯で暮らす人々にとって重要な移動手段であると同時に、悠久の歴史を共に歩んできた特別な存在だったことを示す関連資料を中心に構成しました。
- ・『馬にこめられた願い』は、古代インドから仏教に取り入れられた、力の象徴である馬にかかわる神仏類を展示しました。銅造・木造や絵画で表された馬頭観音像、絵画になった蚕の守り神である馬鳴菩薩、ヨーロッパから日本までの天馬のデザイン、庶民の信仰を集めた絵馬など 56 点を展示しました。
- ・『競馬レトロポスター展 ー地方競馬・東日本編ー』は、東日本地域の競馬場のほか、地元の神奈川県においては、西日本編とは違う戸塚・川崎競馬ポスターを中心に展示しました。これらのポスターは、西日本同様競馬場の存在と開催日を広く告知することを目的に優れたデザインで制作されており、当時の関係者の熱意も伝わる展示となりました。
- ・『馬の彫刻家・三井高義石膏原型展』は、三井高義の 60 有余年にわたる創作活動の中で遺したブロンズ像を造る過程に必要な石膏原型 35 点を中心に彫塑作品を展示しました。また三井一本松町家と根岸競馬の関係、明治後期にその名を馳せた三井家の卓越した馬術家としての一面も併せて紹介しました。
- ・『中川コレクションー刀装具に描かれた「馬のおはなし」ー』では、2005 年に寄贈された中川コレクションから馬が登場する物語などが描かれた刀装具を展示しました。同コレクションは馬に特別な好奇心を抱えていた故中川洋一が収集された刀装具、コインを中心とする蒐集群です。刀装具の美術工芸品としての美しさだけでなく、そこに描かれた馬にまつわる物語を紹介しました。

(2) 常設展示

常設展示は第 1、第 2 および第 4 展示室において実施しました。特に、ウマの進化や生態など自然史系の常設展示を行う第 4 展示室は、入館者が体験できるコーナーが人気を博してきましたが、長年にわたる体験用機器の使用により随所に傷みが生じていたため、入館者が安全に体験できるよう機器を順次改修し更新しました。

展示物	展示場所
根岸競馬の歴史・皇室と競馬等	第 1 展示室

曲がり家・明治天皇御料馬車	第2展示室
ウマの進化・馬と人との関わり	第4展示室

(3) 馬事博物資料等の調査・研究

令和2年度開催予定の「東京オリンピック・パラリンピック関連展示」のため、馬事公苑栃木支所、セノー株式会社および横浜中央図書館において、個人所蔵の資料等について調査しました。

また、大学教授、博物館学芸員および研究者による当館所蔵資料の調査依頼に協力しました。

件数	調査依頼資料名
1	「保元平治物語六波羅探題行幸絵巻」「平治物語絵巻 信西巻」、「平治物語絵巻 待賢門合戦巻」、「保元合戦図屏風」、「保元の乱画帖」、「平治の乱画帖」
2	「大原御幸・犬追物図屏風」、小宮好信「犬追物図屏風下絵」、永言齋「犬追物図」

(4) 馬事博物資料等に関する印刷物の編集および刊行

秋季企画展の開催に合わせて「名馬と武将」の図録を刊行しました。

(5) 馬事博物資料の収集

一般財団法人日本中央競馬会弘済会から助成を受け、馬事博物資料を購入するとともに、資料の寄贈を受けました。

①購入資料（1点20万円以上）

	資料名	
1	横尾忠則作「薔薇の蕾と薔薇の関係」（1988年）	1点
2	松前慶広書状（慶長4年・1599）10月12日付	1点

②寄贈を受けた資料

	資料名
1	法螺貝蒔絵鏡 一双
2	唐鞍写、四枚居木鞍写 計2背
3	ブロンズ像《いとし子》、《馬頭》三井高義作 計2体

(6) 資料の貸出

博物館および美術館等の依頼により資料を貸出すとともに、書籍、新聞、雑誌、テレビなど多くの媒体（50件）に当館所蔵品の画像を無償提供し、当館資料の有効利用と馬の博物館の広報活動に努めました。

	貸出資料名	貸出先	貸出期間
1	移鞍装着模型ほか 計6件	横浜市歴史博物館	H31. 1. 18～ 3. 30

2	坂本繁二郎《月光》 1点	久留米市美術館 練馬区立美術館	3.29～ R1.9.20
3	久隅守景「賀茂競馬図屏風」 6曲1双	横浜美術館	6.22～ 9.7
4	小田原城下図屏風 6曲1隻	小田原城天守閣	9.26～12.19
5	根岸競馬関係資料4点、図書 1冊、パネル7枚他	JRA ウィンズ横浜	9.27～10.10
6	賤ヶ岳合戦図屏風 6曲1双	熊本県立美術館	10.9～12.24

(7) 資料の管理・保管

- ①新規の図書・写真・博物資料を資料管理情報システムに入力しました。
- ②害虫の生息状況を調査（6月14日～6月29日）の上、収蔵庫の燻蒸消毒および展示室等の床面消毒を実施しました。（7月7日および8日）
- ③昨年に引き続き所蔵資料の保存環境向上および効率的な整理整頓のため、第1収蔵庫の収納棚の一部をスチール棚から木製棚に入れ替えました。
- ④昨年と本年上半期の調査に基づき、第2展示室内すべてのエアタイトケースに空気清浄機を設置しました。なお、上半期は環境調査のためエアタイトケースは使用せず、前面に仮設壁を設置し写真展を中心に開催しましたが、下半期は環境調査を継続しながら、エアタイトケースを使用しました。さらに第1収蔵庫においても環境調査を実施し、空気清浄機を設置するなどの措置を講じ、一定の改善効果を得ることができました。

(8) 特別イベント

- ①さくらウィーク in 馬の博物館（3月16日～4月7日）
春休み期間中にファミリー向けのイベントを開催しました。
 - ・ポニー苑内でくたくさんぽ（3月21日）
 - ・ワークショップ「レジンで馬のストラップを作ろう！」（3月24日）
 - ・「オリジナルポストカード」プレゼント（先着1,000名様）
- ②夏休み企画（7月27日～8月25日）
夏休み期間中にお子様向けイベントを開催しました。
 - ・『アニメ馬物語』の上映（7月27日～8月25日）
 - ・ポニーセンターの馬をえがいてみよう（7月27日）
 - ・カプセルトイでオリジナル切り紙のプレゼント
（7月28日～8月25日 期間中の土曜日・8月18日を除く）
 - ・夏休み自由研究相談「馬について学ぼう」（7月28日）
 - ・モンゴル子ども講座&馬頭琴の演奏会

- (8月3日、講師・出演 宮原洋子氏 [天馬の会])
- ・学芸員と一緒にワークブックで馬について調べよう
(8月10日・17日・24日)
 - ・おちゃっぴ粘土教室 in 馬の博物館
(8月11日、講師 おちゃっぴ氏 [ねんどクリエイター])

③クリスマス企画 (12月14日～24日)

未来の競走馬を応援するワークショップのほか、クリスマスメドレーを中心としたクラシック音楽のミニコンサートなど、家族向けイベントを開催しました。

- ・ワークショップ「レジンで馬のブローチをつくろう」(12月14日)
- ・ワークショップ「未来のスターホースに願いを込めて ～もくしでつなぐプロジェクト」(12月15日、協力 Pacalla [パカラ])
- ・ミュージアムコンサート in 馬の博物館 (12月21日、主催クラシック・ヨコハマ 2019、出演 横浜市民広間演奏会)
- ・「オリジナルハンカチタオル」入館者プレゼント (先着 500名様)

(9) 馬に関する講演会等

①講演会の開催

- ・鴨川市教育委員会主催「嶺岡牧シンポジウム」において、「古文書から見た嶺岡牧の世界」と題した講演を千葉県鴨川市吉尾公民館で実施しました。(3月17日)
- ・船橋市郷土資料館・船橋市薬円台公民館共催の地域史講座「牧と開墾」において、「下総牧の馬たち～野馬と牧の生態系～」というテーマの講演を同公民館で実施しました。(6月22日)
- ・韓国の「龍雲高校」という馬に特化したクラスを持つ高校の日本研修の一環として「馬の進化・特徴と日本の馬・競馬産業」と題した講義を館内にて実施しました。(6月4日)
- ・JRA ウインズ横浜と横浜商科大学等との連携による市民向け公開講座「野毛まちなかキャンパス」の第10回プログラムとして、ウインズ横浜において「中央競馬のルーツは横浜にあり～競馬の文化と見所に迫る！～」と題した講義を実施しました。(12月16日)

②学芸員課程学生の博物館実習

- ・清泉女子大学・東京農業大学・鶴見大学・東京造形大学・明治大学より5名の実習生を受け入れました。(7月31日～8月4日)
- ・日本女子大学学芸員課程生徒の半日学芸員実習を実施しました。(9月16日)

③その他

JRA 馬事部獣医課新人研修、世田谷生涯大学、専修大学、中央大学生協、国際動物専門学校、西東京市郷土文化会、文化資源学会の校外学習の受け入れに積極的に応じ、各々の専門分野に合わせた説明、案内に努めました。

(10) 他館等との交流

- ・群馬県桐生市教育委員会生涯学習課主催の「山口晃ポスター展」（会場：桐生市役所市民サロン、会期：2月12日～3月15日）に、当館で開催された山口晃氏の作品が掲載された展覧会ポスター2件を提供しました。
- ・アメリカ山公園主催のパネル展「風刺画に見る～アメリカ山公園の元住人～ドクター・ウィーラー」（4月1日～5月10日）に際し、『ジャパン・パンチ』などに描かれたウィーラーの本人確認とその風刺画の意味について調査を依頼され、解説協力しました。
- ・大佛次郎記念館主催の「テーマ展示Ⅰ大和和紀『ヨコハマ物語』×大佛次郎の横濱」において大佛次郎の開化小説に登場する馬・競馬関係について事実確認の質問があり、当時の歴史を調査し回答しました。
- ・株式会社中央競馬ピーアール・センターが JRA より依頼され、天皇賞・秋当日に東京競馬場で配布された『天皇陛下御即位慶祝メモリアルブック』の制作に際し、解説文並びに所蔵資料の画像を提供しました。
- ・博物館事業の充実を図るため、神奈川県博物館協会が開催する会議、研究会、専門部会に参加しました。
- ・各地の博物館・美術館、教育機関との交流を通じて資料の相互活用および情報交換を実施しました。

(11) 日本中央競馬会主催の研修への参加

関係団体若手プロパー職員研修（4月27日）に2名が参加しました。

(12) 外国人観光客への対応

苑内の案内看板の多言語化および英語版の案内リーフレットを作成し、外国人観光客の受け入れ態勢を整えました。

(13) その他の協力

- ・横浜市道路局主催の「ひつじのショーンが案内する横浜横須賀めぐりサイクルスタンプラリー」（3月1日～6月9日）において、馬の博物館がスタンプポイントとして組み込まれた他、参加特典（抽選賞）としてオリジナルグッズを提供しました。
- ・馬車道商店街協同組合主催の「馬車道まつり」（10月31日～11月3日）において、横浜と馬・競馬の歴史紹介パネルの展示をはじめ、さわれる馬具コーナー、馬の郷土玩具・民芸品の展示を実施しました。

- ・JRA ウインズ横浜での秋季特別企画「横浜と競馬展」(9月28日・29日・10月5・6日)の開催に際し、馬の博物館所蔵の関連資料や画像資料および各種情報を提供しました。
- ・JRA ウインズ横浜での「プロジェクションマッピング」(10月7日～11月2日)の実施に際し、近隣施設紹介コンテンツの一つとして、馬の博物館の紹介映像を提供しました。

2 馬展示事業

(1) 馬の展示

博物館事業の一環として実施する実馬展示については、多品種の馬 11 頭を繋養し、馬場での放牧や騎乗等のほか、日常の飼養管理の様子を紹介し、馬の行動を観察できる環境を維持しました。

展 示 馬 一 覧 表

	馬名	品種	毛色	生年	年齢	性別	産地	体高	入退厩日
1	ペルニー	中半血	茶斑	1998年 推定	21	セン	不詳	102cm	2008. 4. 25 函館競馬場より受贈
2	ミカン	野間馬	栗毛	2010年5月	9	セン	今治市	100cm	2013. 2. 15 野間馬保存会より借 受
3	ゆき	北海道和種	河原 毛	2011年4月	8	牝	函館市	127cm	2013. 11. 17 購入
4	マイネル キッツ	サラブレッド	栗毛	2003年3月	16	セン	新冠町	164cm	2013. 12. 11 サラブレッドクラ ブ・ラフィアンより 受贈
5	シザーZ	Zangersheide	鹿毛	2005年6月	14	セン	オランダ	168cm	2014. 9. 11 競馬学校より受贈
6	マイネル ネオス	サラブレッド	鹿毛	2003年3月	16	セン	新冠町	160cm	2014. 11. 6 サラブレッドクラ ブ・ラフィアンより 受贈
7	サンゴ	与那国馬	鹿毛	2014年3月	5	セン	与那国島	117cm	2016. 3. 8 購入
8	ヴァオドゥ ー	ベルギー温血種	芦毛	1998年6月	21	セン	ベルギー	175cm	2017. 12. 6 栗東 TC より受贈
9	イツ	フリージアン	青毛	2002年4月	17	セン	ベルギー	166cm	2019. 11. 27 東京競馬場より受贈
10	エミ	ミニチュアホ ース	青毛	2001年	18	牝	不詳	88cm	2019. 11. 27 東京競馬場より受贈
11	カスミチャ ン	サラブレッド	芦毛	2012年3月	7	牝	新ひだか 町	161cm	2019. 12. 18 購入

※年齢は、2019年12月末日現在

(2) ふれあいイベント

馬に関する興味や知識を高めるとともに、愛馬心と動物愛護の精神を涵養することを目的として、ふれあいイベントを実施しました。

①馬の博物館の入館者を対象とした体験乗馬等

毎月第1日曜日と第3日曜日(1月は第2日曜日、2・5・8・11月は第3

日曜日のみ実施)に、馬の博物館入館者を対象として乗馬デー(体験乗馬および馬車の試乗会等)を開催しました。また、3・4月の「サクラウィーク」では、馬の試乗会(体験乗馬のみ)や苑内を散歩するポニーと触れ合う「てくてくさんぽ」を実施し、馬事イベントを充実させました。

②にんじんタイム

毎週土曜日に、お客様に馬に親しんでいただくため、にんじんを与え、馬と触れ合うことができる機会を提供しました。

③体験学習講座

小学校高学年児童を対象に、馬に関する基礎知識の学習や馬房の清掃、体験乗馬、馬の手入れ等を行う「一日愛馬教室」(9月8日、22日)を開催しました。

④その他の協力

来苑した幼稚園・小学校等からの要請に応じて、馬について説明したほか、にんじんを与え、馬との触れ合い体験の場を提供しました。

また、学校教育機関と連携し、生徒の職業体験学習を受け入れるとともに展示馬の学校訪問により馬の理解促進に努めました。

(職業体験学習)	横浜市立根岸中学校(2年)4名	1月31日
	横浜市立岡村中学校(2年)5名	2月1日

その他、在来馬等の展示馬を活用し、JRAや外部団体等のイベントに協力しました。

- ・第3回ホースメッセへの協力

1月17～20日(主催:ホースメッセ実行委員会)

- ・横浜市歴史博物館企画展関連イベントへの協力

2月10日(主催:横浜市歴史博物館)

- ・JRAウインズ横浜主催イベントへの協力

4月28日、10月27日

- ・動物感謝デーへの協力

10月5日(主催:日本獣医師会)

(3) 春秋特別イベント

春季はゴールデンウィーク期間中の5月5日“こどもの日”に『馬とあそぼうこどもの日』を開催し、大日本弓馬会による伝統馬事芸能「流鏝馬・笠懸」の披露、JR東日本横浜支社や在来馬の故郷である沖縄県、木曾町役場とのコラボイベント等を実施しました。

秋季は11月4日に『馬とのつどい2019』を開催し、JRA東京競馬場の協力による「アンダルシアンホースダンス」と「軽乗」の披露、JRA中山競馬場の協力による馬車試乗会および近隣や関連団体とのコラボイベント等を

実施しました。

実施日	催物（集客）	内容
5. 5	馬とあそぼう こどもの日 (来場者 9,500 人・対前年比 82.6%)	大日本弓馬会による流鏝馬・笠懸、蹄鉄造りの実演（協力：JRA 競馬学校）、キャラクターグリーティング・記念撮影会、在来馬のふるさと物産展（協力：沖縄県・木曾町役場）、JR 駅員とのふれあい広場（協力：JR 東日本横浜支社）、市電保存館による市電シミュレーター、ピエロのパフォーマンス、マジックショー、馬頭琴・ホーミー演奏会、フラダンスショー、馬・馬車の試乗会、マイネルキッツ号・マイネルネオス号の蹄鉄プレゼント抽選会、在来馬とのふれあいイベント、プレゼント抽選会（協力：横浜 F・マリノス）他
11. 4	馬とのつどい 2019 (来場者 9,800 人・対前年比 103.2%)	アンダルシアンホースダンス、軽乗供覧（協力：JRA 東京競馬場）、馬車試乗会（協力：JRA 中山競馬場）蹄鉄造りの実演（協力：JRA 競馬学校）、SATOCO のパントマイムショー、Mr. Dai のパフォーマンスショー、ミニ電車体験乗車（協力：JR 東日本横浜支社）、市電保存館による市電シミュレーター、キャラクターグリーティング・記念撮影会、ふわふわ「フリ丸」（協力：横浜 FC）、在来馬のふるさと物産展（沖縄県、長野県木曾町）、企画展「名馬と武将」関連ワークショップ「かぶれる！デコれる！かぶと折り紙」、スタンプラリー、抽選会（協力：横浜アンパンマンこどもミュージアム）他

(4) 厩舎管理等

展示馬の健康管理については体温・行動等に常に留意し、また、伝染病予防接種等の防疫管理、厩舎の定期消毒・害虫駆除等の衛生管理を実施し、お客様への快適な展示環境の提供に努めました。

3 馬文化の保存

(1) 馬事伝統行事保存事業

わが国に古くから伝わる馬に係わる伝統行事の保存および振興を図るため、馬事伝統行事を実施する 43 団体に対して助成金を交付しました。

(2) 在来馬種保存事業

わが国に現存する 8 種類の在来馬種の保存活動を実施する団体に対し、公益社団法人日本馬事協会を通じて助成金を交付しました。

また、Gate J. 出張イベントとして、全国の主要競馬場等において「在来

馬保護チャリティーイベント」を5回実施しました。

4 施設の管理運営および公苑の整備

草花の植栽や樹木の剪定等を計画的に実施し、公苑の整備と美化に努めました。また、公苑内の警備や建物の総合管理業務等は各業者に委託し実施しました。

5 入館者・入苑者

区分	馬の博物館						根岸競馬記念公苑		
	開館 日数	入館者数					開苑 日数	入苑者数 (概数)	1日 平均
		大人	小人	団体	合計	1日 平均			
1月	24日	786	156	14	956	40	24日	13,320	555
2月	21日	1,075	260	147	1,482	71	25日	17,440	698
3月	29日	1,981	620	191	2,792	96	29日	31,130	1,073
4月	27日	1,803	505	144	2,452	91	27日	34,890	1,292
5月	24日	3,249	1,583	778	5,610	234	27日	36,520	1,304
6月	26日	800	255	287	1,342	52	26日	12,580	484
7月	22日	530	174	140	844	38	27日	8,380	310
8月	27日	952	360	196	1,508	56	27日	7,950	294
9月	25日	889	290	415	1,594	64	25日	11,590	464
10月	21日	708	186	451	1,345	64	25日	11,250	450
11月	26日	3,138	1,462	197	4,797	185	26日	25,050	963
12月	16日	726	179	736	1,641	103	23日	10,540	458
元年計	288日	16,637	6,030	3,696	26,363	92	311日	220,640	709
前年計	287日	18,089	6,169	4,862	29,120	101	317日	269,852	851
前年比 (%)	100.3	92.0	97.7	76.0	90.5	91.0	98.1	81.8	83.3

*1日最高入館者数 3,330人 11月4日

*1日最高入苑者数(概数) 9,800人 11月4日

*教育団体等の見学者数

保育園	幼稚園	児童団体	小学校	中学校	高校 大学	特別支援 学校	一般団体	競馬関係
287	322	363	843	23	140	25	1,642	68

II JRA 競馬博物館の事業

1 展示および調査・研究

(1) 展示イベント概要

年間展示スケジュールのとおり、ギャラリー、展示室 3、特別展示室およびエントランスホール等において、特別展、企画展等を開催しました。

展示期間	展示タイトル		展示場所
H30. 10. 6 ～2. 17	秋季 特別展	「メジロ牧場の歴史～“白と緑”の 蹄跡」	ギャラリー 展示室 3 エントラン スホール
2. 23～ 4. 14		「2018 年度 JRA 賞展」	展示室 3
4. 20～ 6. 23	春季 特別展	「華麗なる淑女の饗宴 オークス 展」	ギャラリー 展示室 3 エントラン スホール
4. 20～ 6. 2	企画展	「ジョッキーへの道～騎手という 仕事～」	エントラン スホール 馬の学び舎
6. 8～ 7. 28		「第 86 回日本ダービー優勝馬展」	エントラン スホール
7. 25～ 8. 31		「UMART s 2019 うまからうまれる アート展」	展示室 3
9. 21～ 10. 27	企画展	「府中とラグビーと競馬」	展示室 3 エントラン スホール
10. 5～ 10. 27	天皇陛下 御即位慶 祝展示	「皇室と競馬」	ギャラリー 特別展示室 エントラン スホール
11. 2～ R2. 2. 24	特別展	「ありがとう！ディープインパク ト」	ギャラリー エントラン スホール
	特別展	「ファンが選ぶ思い出の顕彰馬～ 時代を彩った名馬たち～」	展示室 3
12. 7～ R2. 2. 2		「第 39 回ジャパンカップ優勝馬展」	エントラン スホール

①秋季特別展

前年から引き続き特別展『メジロ牧場の歴史～“白と緑”の蹄跡～』を開催しました。日本競馬史において数々の偉業（天皇賞 7 勝・グランプリレース 5 勝など）を成し遂げながらも、2011 年にその歴史に幕をおろし

た名門メジロ牧場について、多くの貴重な資料の展示に同牧場の名馬たちを支えた人々へのインタビュー映像を交えて、わが国の競馬に残した功績と今も引き継がれるその血脈を紹介しました。

②春季特別展

オークスが第 80 回を迎えたことを記念し、特別展『華麗なる淑女の饗宴 オークス展』を競馬博物館の会場に加えて、東京競馬場と連携してフジビュースタンドイーストホールを第 2 会場として開催しました。本展ではオークスのもつ「女性らしさ・華麗さ・祭典」といったイメージを表現し、特に女性へのアピールを心がけながら、記憶に新しい平成に誕生したオークス優勝馬を中心に、ファンが選んだベストオークス馬やオールドファンの琴線に触れる懐かしのオークス馬も紹介しました。また、華やかな舞台・オークスの歴史や伝統あるイギリス・フランスのオークスに関しても併せて紹介するとともに、本展のために長瀬智之氏が描いた昨年度オークス優勝馬アーモンドアイ号の絵画とこの作品をデザインした特大スカーフも展示しました。

③企画展

- ・『ジョッキーへの道～騎手という仕事～』は、競走馬とともに競馬の主役を担うジョッキーに焦点を当て、関係者のインタビューを交えてその仕事の魅力に迫るとともに、騎手の養成施設である JRA 競馬学校（騎手課程）についても取り上げ、本年デビューした第 35 期生を紹介しました。また本展示と関連して、競走馬に関わるいろいろな仕事を紹介するための企画として、JRA 競馬学校教官のほか、競走馬獣医師、日本装蹄協会装蹄教育センター教官による講演会を開催しました。
- ・『府中とラグビーと競馬』は、日本でアジア初のラグビーワールドカップ（RWC）が開催されたこと、JRA 競馬博物館（東京競馬場）のある府中市が、イングランドおよびフランスのキャンプ地となったことを受けて開催しました。日本、イングランド、フランスの 3 か国に、RWC 開催中の 4 回東京競馬において「アイルランドトロフィー府中牝馬 S〔G II〕」が施行されることからアイルランドを加えた 4 か国のラグビー代表チームを紹介するとともに、競馬先進国かつ主要な馬産国でもある各国と日本競馬とのかかわりについて解説しました。展示内容については、RWC 観戦等を目的とした訪日外国人の来場増加を想定し、日本の馬事文化に触れてもらえる機会となるよう、財団所蔵の屏風や浮世絵などの絵画、馬具や刀装具などの工芸品といった美術品をあわせて展示しました。

④天皇陛下御即位慶祝展示

「第 160 回天皇賞（秋）〔G I〕」が慶祝競走として施行されることか

ら、JRA の要請を受け『皇室と競馬』は開催し、皇室と日本競馬との長い
 かかわりと天皇賞競走の歴史について紹介しました。

⑤特別展

- ・『ありがとう！ディーピンパクト』は、本年7月30日に同馬が亡く
 なったことを受けて JRA の要請により開催しました。同馬への哀悼の
 意を表すとともに、その偉大な蹄跡を関係資料などとともに振り返り
 ました。
- ・『ファンが選ぶ思い出の顕彰馬～時代を彩った名馬たち～』は、1984年
 (昭和59)の選考開始以来現在33頭が選出されている顕彰馬のうち、
 本館で実施したファン投票「私が選ぶ思い出の顕彰馬」の上位16頭に
 ついて、関連資料をファンの皆様から頂いたコメントとともに紹介し
 ました。

⑥その他の展示

- ・『UMARTs 2019 うまからうまれるアート展』は、武蔵野美術大学 芸術
 文化学科ならびに公益社団法人むさし府中青年会議所との共催で開催
 しました。同校卒業生等制作の馬をモチーフとしたアート作品に加え
 て、馬との触れ合いイベントに参加した小学生が描いた絵葉書を展示
 しました。

(2) 競馬場等の展示イベントへの協力

競馬場等からの依頼により展示イベント開催に協力しました。

	展示期間	展示タイトル	展示場所
	貸出資料		
1	2.9～3.3	武豊展～4000勝の軌跡～	小倉競馬場スタンド4階豊ギャラリー、5階豊ロード
	展示パネルおよび武豊騎手4000勝達成記念スカーフ、スペシャルウィーク号馬主服、キタサンブラック号馬主服		
2	6.15～7.21	特別展示「メジロ牧場の歴史～“白と緑”の蹄跡～」	函館競馬場スタンド3階特設会場
	展示パネル、優勝レイおよびトロフィー		
3	6.29～7.21	特別展示「ノーザンファーム天栄展」	福島競馬場スタンド1階メモリアルコーナー
	アーモンドアイ号馬主服およびクリストフ・ルメール騎手使用鞭		
4	7.25～9.1	武豊展+	小倉競馬場スタンド4階豊ギャラリー、5階豊ロード
	展示パネルおよび武豊騎手4000勝達成記念スカーフ		

5	7.30～8.18 8.24～9.15	新ひだか町博物館・浦河町馬事資料館移動展「ウマ その進化と特徴」	新ひだか町博物館 浦河町馬事資料館
	展示パネル		
6	9.7～9.29	メディアストリートリニューアル記念 武豊騎手× 阪神競馬場メモリアル展示	阪神競馬場メディアストリート
	展示パネルおよび武豊騎手 4000 勝達成記念スカーフ		
7	9.28～10.6	秋季特別企画「横浜と競馬展」	ウインズ横浜 5 階特設エリア
	優勝レイおよび勝負服		

(3) 常設展示機器等

ライヴシアター「Thoroughbred」において「サラブレッド・ラボ」、「競走馬への道～栄光を目指して～」および「“競馬の祭典” 日本ダービー～馬と人とは織りなすドラマ～」を上映しました。また、「なりきりジョッキー」や「スターティングゲート」の体験機器は円滑・安全に運用できるよう保守管理に努めました。

(4) 馬の学び舎ミュージアム・ホール

等身大の馬像(ばん馬・サラブレッド・日本在来馬)を展示するとともに、展示イベントに合わせて、博物資料、解説パネルを設置しました。また、映像コーナーでは 150 インチ中型映像装置を用いて、オリジナルアニメーションや馬事文化紹介映像等を上映しました。

さらに、当館の認知度向上、来場促進および多目的機能の積極的な活用を目的として、東京競馬開催期間を通じて幅広い層の来館者に訴求するイベントを随時実施しました。また、10月14日にはJRA主催で「サンクスホースデイズ in 東京競馬場」を開催し、引退競走馬を中心に、競馬以外のステージで活躍する馬たちの様子を紹介しました。

〈馬の学び舎 展示一覧〉

	展示期間	展示タイトル
1	H30. 12. 15～4. 14	「馬の進化」
2	4. 20～R2. 2. 24	企画展「ジョッキーへの道～騎手という仕事～」

〈馬の学び舎 映像上映一覧〉

	作品区分	タイトル
1	アニメ馬物語	走れ！ドンタ
2	〃	博物館は大騒ぎ

3	〃	頑固馬ミカゲじいさん
4	アニメ HORSE DREAMER	島田牧場へようこそ
5	〃	天下の沙汰も馬しだい
6	グリーンチャンネル 特別番組	岡部フロンティア 2018 モンゴル編
7	馬に関わる仕事	日本の競馬を守る若き獣医師たち ～世界水準の先端医療をめざして～
8	〃	JRA 競走馬総合研究所 常磐支所 ～ターフで再び輝くために～
9	〃	JRA 競走馬総合研究所紹介ビデオ

〈馬の学び舎 イベント一覧〉

	イベント名	内容	実施日
1	Gate J. Presents 「図解！馬の走り方の 仕組み」	山口大学教授で国立科学博物館 「大哺乳類展 2」のアドバイザー である和田直己教授が「馬」の走 る仕組みを易しく解説	5. 4, 5. 5
2	「草野仁の Gate J. + (プラス)」公開収録	グリーンチャンネル制作番組、ゲ スト長瀬智之氏（画家：JRA 顕彰 馬「ロードカナロア号」、オークス 展「アーモンドアイ号」絵画製作）	5. 12
3	馬のお医者さんのお仕 事	企画展「ジョッキーへの道～騎手 という仕事～」の関連イベントと して、競馬博物館部長が競走馬の 獣医療について、主に動画を用い て紹介	5. 18, 5. 19, 6. 9, 6. 16, 6. 23, 10. 27, 11. 3
4	「ジョッキーへの道 展」特別講演	企画展『ジョッキーへの道～騎手 という仕事～』の関連イベントと して JRA 競馬学校教官を招き、競 馬学校でのカリキュラムや日常 生活、騎手という職業について解 説、訓練用木馬の騎乗を実演。	8. 3
5	Gate J. Presents 栗田博憲 JRA 元調教師 トークショー	天皇陛下御即位慶祝展示『皇室と 競馬』開催を記念して、栗田博憲 JRA 元調教師（平成 5 年第 108 回 天皇賞（秋）をヤマニンゼファー 号で優勝）と鈴木淑子さんによる トークショー	10. 6

6	馬の博物館出張講座 「古式競馬の歴史」	天皇陛下御即位慶祝展示『皇室と競馬』の展示資料「賀茂競馬図屏風」に関連して、古来より宮中や寺社で行われてきた「古式競馬」について、馬の博物館前学芸部長が解説	10.20
7	特別講演「うまのくつやさんのお仕事」	企画展「ジョッキーへの道～騎手という仕事～」の関連イベントとして、日本装蹄協会 装蹄教育センターから講師を招き、装蹄師という職業や装蹄教育センターでの生徒たちの生活を映像も交えながら紹介	11.9 , 11.10

(5) 競馬博物資料等の調査・研究

各種展示開催のため、ノーザンファーム天栄、美浦トレーニング・センター、競馬学校、栗東トレーニング・センターにおいて調査を実施しました。

また、来館者向けのアトラクション調査のため、公益財団法人軽種馬育成調教センター、公益社団法人日本軽種馬協会およびレジェンドスポーツヒーローズイオンモール幕張新都心店を視察しました。

(6) 競馬博物資料の収集

① 寄贈を受けた主な資料

	資料名
1	ロジャーバローズ号馬主服 1点
2	浜中俊騎手使用鞭（第86回日本ダービー優勝時使用）1点
3	ロジャーバローズ号蹄鉄 1式
4	スワーヴリチャード号馬主服 1点
5	0.マーフィー騎手使用鞭（第39回ジャパンカップ優勝時使用）1点
6	スワーヴリチャード号蹄鉄 1式
7	アーモンドアイ号蹄鉄（第38回ジャパンカップ優勝時使用他）1式

(7) 資料の管理・保存

① 収蔵資料の燻蒸消毒による保存、整理等を実施しました。

② 収集した図書・博物資料を資料管理情報システムに入力、管理しました。

(8) ワークショップ等普及イベント

馬および競馬に対する関心を高めてもらうこと、また馬に対する愛情を深めてもらうことを目的として、家族向けワークショップ等の各種イベントおよび特別展・企画展の開催に併せた担当学芸員による博物館ガイドツアー等を実施しました。

① 第1回東京競馬イベント開催

	イベント名	内容	実施日
1	博物館ガイドツアー	学芸員がインカムを使用して特別展『メジロ牧場の歴史～”白と緑”の蹄跡～』の展示について解説。	1.27 2.3 2.10 2.17
2	親子でお馬さんを作ろう！	在来馬やサラブレッドを模したペーパークラフトやウッディクラフトの馬を親子で製作	1.27 2.3 2.10 2.17
3	乗馬服を着て記念撮影しよう！	小学校低学年以下を対象に乗馬服姿で馬像と記念撮影	1.26 2.2 2.9 2.16
4	特別展「メジロ牧場の歴史～”白と緑”の蹄跡～」フィナーレ大抽選会	展示最終日にメジロ関連グッズ等が当たる抽選券付アンケートを実施	2.17

②新作アニメーション「HORSE DREAMER」上映開始特別企画

	イベント名	内容	実施日
1	HORSE DREAMERグッズが当たる！抽選会	競馬博物館オリジナルアニメの新作「HORSE DREAMER」の上映開始を記念した「アニメ馬物語」や「HORSE DREAMER」のグッズ等が当たる抽選会	3.23 3.24

③第2・3回東京競馬イベント開催

	イベント名	内容	実施日
1	Gate J. Presents 抽選券付アンケート	春季特別展『華麗なる淑女の饗宴』オークス展開催を記念した抽選券付アンケート	4.20 4.21
2	Gate J. Presents 長瀬智之先生の子供のためのお絵描き教室	小学校低学年以下を対象に画家の長瀬智之氏が馬のお絵かきを指導	4.27 4.28
3	木馬に乗ってみよう！	小学生を対象とした米国製訓練用木馬の体験騎乗	5.3 5.11 5.25 6.1 6.8 6.15 6.22
4	お馬さんを作ろう！	在来馬および競走馬の紙模型を製作	4.30 5.2

			5.6 5.26 6.9 6.23
5	乗馬服を着て記念撮影しよう！	小学校低学年以下を対象に乗馬服姿で馬像と記念撮影	4.20 4.29 5.1 6.2 6.16
6	Gate J. スタンプラリー	乗馬センターとの連携イベントとして博物館・乗馬センター間でスタンプラリーを実施	6.22 6.23
7	Gate J. Presents 博物館ガイドツアー	学芸員が春季特別展『華麗なる淑女の饗宴 オークス展』および企画展『ジョッキーへの道～騎手という仕事～』を案内	4.20 5.11 6.2 6.9 6.16 6.23
8	ミニチュアポニー放牧	乗馬センターの協力により博物館入口横の柵内にてミニチュアポニーを展示	5,11 5.12

④「夏季期間」特別企画

	イベント名	内容	実施日
1	UMARTs2019 クラフトワーク「ウマく、わくワーク！」	「UMARTs 2019 うまからうまれるアート展」開催に併せて、武蔵野美術大学生が企画した馬文化に親しむワークショップを1階エントランスホールで実施	8.3 8.4
2	0歳児のための鑑賞プログラム「赤ちゃんとUMARTs」	武蔵野美術大学杉浦教授による0歳児とご両親のための美術に親しむプログラム	8.4
3	木馬に乗ってみよう！	小学生を対象とした米国製訓練用木馬の体験騎乗	7.21 8.4 9.1 9.15
4	お馬さんを作ろう！	在来馬および競走馬の紙模型を製作	7.28 8.18 9.8 9.22
5	乗馬服を着て記念撮影しよう！	小学校低学年以下を対象に乗馬服姿で馬像と記念撮影	8.11 8.25 9.16 9.23 9.29

⑤第4・5回東京競馬イベント開催

	イベント名	内容	実施日
1	Gate J. Presents 抽選券付アンケート	企画展『府中とラグビーと競馬』 および天皇陛下御即位慶祝展示 「皇室と競馬」の2大展示の同時 開催を記念した抽選券付アンケ ート	10.5 10.6
2	お馬さんを作ろう！	在来馬および競走馬の紙模 型を製作	10.14 10.20 10.27 11.3 11.10
3	乗馬服を着て記念撮影し よう！	小学校低学年以下を対象に 乗馬服姿で馬像と記念撮影	10.26 11.9 11.24
4	木馬に乗ってみよう！	小学生を対象とした米国製 訓練用木馬の体験騎乗	10.19 11.2 11.23
5	Gate J. Presents 長瀬智之先生の子供のため のお絵描き教室	小学校低学年以下を対象に画家 の長瀬智之氏が馬のお絵かきを 指導	11.16 11.17
6	Gate J. Presents 博物館ガイドツアー	天皇陛下御即位慶祝展示『皇室と 競馬』および企画展『府中とラグビ ーと競馬』を案内	10.6 10.27
7	Gate J. Presents スタンプラリー抽選会	乗馬センターとの連携イベント として博物館・乗馬センター間で スタンプラリー抽選会を実施	11.23 11.24

⑥博物館カレンダー配布

	イベント名	内容	実施日
1	2020年日本中央競馬会フ ァン用カレンダー配布	ご来館頂いたお客様に配布	12.8 12.14 12.15
2	2020年馬事文化財団オリ ジナルカレンダー配布	〃	12.14 12.15 12.22 12.23 12.28

⑦団体見学プログラム

展示解説ツアーや馬の学び舎ミュージアム・ホールの中型映像装置を
活用した馬に関する講義等を含めた「団体見学プログラム」を下表のと
おり実施しました。

	団体名	人数	実施日	プログラム
1	佐久穂町役場	17	1.30	展示解説
2	生田地区町会連合会婦人部	35	3.6	展示解説
3	九水会	7	3.8	講義
4	うまキッズラボ（武蔵府中青年会議所主催、小学生の馬ふれあいイベント）	300	3.21	アニメ鑑賞
5	公益財団法人四谷法人会	18	3.27	展示解説
6	市民大学 263	9	4.3	展示解説
7	国立精神・神経医療研究センター病院	10	5.9	展示解説
8	ひまわりウォーキング	9	5.9	講義
9	ヤマザキ動物専門学校	54	5.22	講義
10	国立精神・神経医療研究センター病院	11	5.23	展示解説
11	吉川農水大臣他（競馬監督課長）	7	5.26	展示解説
12	地方競馬教養センター	10	6.6	展示解説
13	国立精神・神経医療研究センター病院	8	6.13	展示解説
14	Y校会	38	6.14	展示解説
15	所沢市民大学 6グループ	7	6.19	講義
16	府中市立武蔵台小学校 3年	62	6.20	講義
17	京王電鉄	40	6.21	展示解説
18	いきがい大学入間学園	7	7.10	講義
19	府中第九小学校 PTA 校外部会	16	8.7	講義
20	Faculty of Sports Science Chulalongkorn University	45	8.7	展示解説
21	関東・甲信越地域大学農場協議会	24	8.30	講義
22	日本監督士協会	14	9.19	展示解説
23	SOMPO ケア ラヴィーレ武蔵境	10	9.20	講義
24	Rugby World Cup 2019 English Guide Tour	7	9.27	講義
25	Rugby World Cup 2019 English Guide Tour	10	10.9	講義
26	Rugby World Cup 2019 English Guide Tour	15	10.10	講義
27	国立精神・神経医療研究センター病院	10	10.17	展示解説
28	いきいき体操クラブ	20	10.25	展示解説
29	つくし会	15	10.30	講義
30	調布市総合福祉センターよつば	6	11.8	講義
31	特定非営利活動法人 府中観光協会	35	11.13	展示解説
32	中央労金八王子支店友の会	20	11.13	展示解説
33	調布市総合福祉センターよつば	6	11.13	講義
34	啓光学園なかまの樹	18	11.14	講義
35	府中市観光ボランティアの会	34	11.15	展示解説
36	府中市立小柳保育所	27	11.15	講義
37	星槎国際高校	19	11.22	講義

38	シルバーユニバーシティ大宮	11	11.28	展示解説
39	401の会	7	12.4	講義
40	多摩区町会連合会	40	12.4	展示解説

2 案内業務および入館者

総合案内所を始め館内にインストラクターを配置し、入館者に対する案内業務を実施しました。

区分	開館日数	入館者数	1日平均入館者数	備考			
1月	17日	5,293	311	開催日 2日	パークウインズ 7日	平日 8日	
2月	17日	9,468	557	開催日 6日	パークウインズ 3日	平日 8日	
3月	23日	7,128	310	開催日 —	パークウインズ 10日	平日 13日	
4月	20日	12,695	635	開催日 4日	パークウインズ 5日	平日 11日	
5月	23日	22,412	974	開催日 8日	パークウインズ —	平日 15日	
6月	17日	9,790	576	開催日 8日	パークウインズ —	平日 9日	
7月	18日	3,838	213	開催日 —	パークウインズ 8日	平日 10日	
8月	23日	7,267	316	開催日 —	パークウインズ 9日	平日 14日	
9月	21日	5,504	262	開催日 —	パークウインズ 10日	平日 11日	
10月	20日	14,718	736	開催日 9日	パークウインズ —	平日 11日	
11月	22日	17,916	814	開催日 8日	パークウインズ 1日	平日 13日	
12月	16日	5,960	373	開催日 —	パークウインズ 8日	平日 8日	
元年計	237日	121,989	515	開催日 45日	パークウインズ 61日	平日 131日	
前年計	172日	106,451	619	開催日 37日	パークウインズ 38日	平日 97日	
前年比 (%)	137.8	114.6	82.0				

※ 6月24日～7月5日 館内整備のため臨時休館

※ 1回東京競馬3日(2月9日)は降雪のため開催中止となり2月11日(月・祝)に代替競馬開催。

※ 4回東京競馬3・4日(10月12・13日)は台風のため開催中止となり、それぞれ10月15・21日に代替競馬開催。これに伴い、博物館も10月12・13日は休館、10月15・21日に開館した。

*1日最高入館者数

開催日	4,668人	10月27日	(天皇賞競走当日)
パークウインズ日	1,315人	12月22日	(有馬記念当日)
祝・平日(非開催日)	902人	5月3日	(憲法記念日)

*1日平均入館者数／総入館者数

開催日	1,614人 / 72,628人
パークウインズ日	431人 / 26,313人
祝・平日(非開催日)	176人 / 23,048人

*教育団体等の見学者数

保育園	幼稚園	児童団体	小学校	中学校	高校 大学	特別支援 学校	一般団体	競馬関係
463	101	370	217	—	196	29	2,780	348

Ⅲ 競馬振興会館（Gate J.）の事業

1 Gate J. 新橋の事業

- ① 施設内の壁面等を活用し、パネル展示等を実施しました。

	展示期間	展示タイトル
1	H30. 12. 19～H31. 1. 28	第 5 回高谷義則作品展
2	H30. 10. 10～H31. 2. 4	ミニ展覧会「競馬場今昔物語（前期）」
3	1. 30～2. 10	第 5 回競馬写真家グループ展「彩 サラブレッド」
4	2. 6～6. 10	ミニ展覧会「競馬場今昔物語（後期）」
5	2. 20～3. 25	JRA 競馬学校騎手課程卒業生作品展
6	6. 12～10. 22	ミニ展覧会「全国の馬の祭り」
7	7. 10～9. 30	特別展「相馬野馬追写真展 インディ 500 のフォトグラファーが挑んだ相馬野馬追の世界」
8	10. 23～R2. 2 月上旬	ミニ展覧会「日本在来馬（前期）」
9	12. 11～12. 28	第 6 回競馬写真家グループ展写真展「時 サラブレッド」

- ② Gate J. 内スタジオにおける、中央競馬の G I 競走のレース検討会等のトークショーやグリーンチャンネル番組「草野仁の Gate J. +（プラス）」の公開収録を開催しました。また、競馬場での出張イベント（在来馬保護チャリティイベント）・JRA 競馬博物館等での出張イベントを含め計 45 回実施しました。

- ③ 大型モニター等を利用し、中央競馬中継や競馬情報番組を放映するとともに、馬の博物館等の施設紹介や展示の案内等を実施しました。

- ④ 各競馬場と歩調を合わせて、夏季に亡くなったディープインパクトとキングカメハメハの追悼記帳コーナーを設置しました。（8月3日～9月1日）

2 Gate J. 梅田の事業

- ① 施設内の壁面を活用し、パネル展示を実施しました。

	展示期間	展示タイトル
1	H30. 10. 13～2. 19	ミニ展覧会「うまたび～競馬場への招待～（後期）」
2	1. 5～1. 22	第 5 回競馬写真家グループ展「彩 サラブレッド」
3	2. 23～6. 10	ミニ展覧会「競馬場今昔物語（前期）」
4	2. 23～4. 2	JRA 競馬学校騎手課程卒業生作品展
5	6. 15～10. 23	ミニ展覧会「競馬場今昔物語（後期）」
6	10. 25～R2. 2 月	ミニ展覧会「全国の馬の祭り」

- ② Gate J. 内において中央競馬の G I 競走のレース検討会等のトークショーに加え、競馬場における出張イベント（在来馬保護チャリティイベント）

を計4回実施しました。

- ③ 館内モニター等を利用し、中央競馬情報番組等や中央競馬レースリプレイを放映するとともに、馬の博物館等の施設の紹介等を実施しました。

3 入館者

区分	Gate J. 新橋			Gate J. 梅田		
	開館日数	入館者数	1日平均	開館日数	入館者数	1日平均
1月	24日	12,142	506	16日	20,231	1,264
2月	24日	11,896	496	16日	18,717	1,170
3月	26日	12,576	484	18日	18,769	1,043
4月	25日	13,060	522	19日	24,472	1,288
5月	23日	12,373	538	16日	20,810	1,301
6月	26日	12,254	471	18日	22,226	1,235
7月	25日	11,300	452	17日	16,858	992
8月	26日	12,204	469	16日	21,311	1,332
9月	25日	11,526	461	17日	20,719	1,219
10月	25日	11,821	473	20日	20,182	1,009
11月	25日	12,170	487	17日	21,370	1,257
12月	24日	13,729	572	18日	28,087	1,560
元年計	297日	147,051	495	208日	253,752	1,220
前年計	302日	143,159	474	210日	236,928	1,128
前年比 (%)	98.3	102.7	104.4	99.0	107.1	108.2

*1日最高入館者数

Gate J. 新橋 901人 12月20日（ウマニティ主催「有馬記念検討会」当日）

Gate J. 梅田 3,648人 12月21日（有馬記念前日）

IV 広報活動

1 馬の博物館

- ① 馬の博物館の商業映像を、JRA競馬場のターフビジョン、ITV、グリーンチャンネル等において展示内容の紹介とともに放映しました。また、JRA各施設、マスコミ、教育・文化関係機関、交通機関や観光案内所、中区第6地区自治会・町内会等にポスターやパンフレットを配布しました。
- ② 春秋特別イベント開催時には地元メディアや近隣に積極的に広報しました。
- ③ 月刊誌「優駿」等JRA発行印刷物に展示案内を掲出しました。

- ④ テレビ、新聞、雑誌等のメディア取材に対応しました。
- ⑤ ホームページ、Facebook や Twitter を活用し、最新情報・展示情報を随時更新するとともに施設紹介等の写真・動画の配信など情報提供および馬文化の普及を図りました。
- ⑥ 施設等案内リーフレット、オリジナルグッズおよびパンフレット等をイベント等の開催時に効果的に配布し、広報活動の一助としました。

2 JRA 競馬博物館

- ① インターネット広告、競馬雑誌、新聞折込広告、フジビューウォーク広告、場内 A 型看板等を活用し、特別展・企画展の開催およびイベントの実施を積極的に告知し、競馬ファンだけではなく広く一般の来館者の増加に努めました。
- ② 春季の特別展および企画展を告知するため、JRA 広報部の援助を得てスポーツ紙各紙を訪問しました。また、テレビ、ラジオ、新聞・雑誌等のメディア取材に積極的に対応しました。
- ③ 夏季の「UMARTs2019 うまからうまれるアート展」では、むさし府中青年会議所の協力を得て、8 月の府中市商工まつりの青年会議所ブースに展示案内ポスターの掲示と競馬博物館での景品引換券の配布を実施し、商工まつり来訪者の博物館への誘引を図りました。
- ④ 月刊誌「優駿」等 JRA 発行印刷物に展示案内を掲出しました。
- ⑤ 展示・イベント案内を JRA 東京競馬場のターフビジョン、ITV、グリーンチャンネル等にて放映しました。
- ⑥ 東京競馬場内のインフォメーションおよび各入場門、来賓受付、馬主協会受付において当館案内パンフレットおよびイベントパンフレットを常置し、来館促進およびイベント告知を図りました。
- ⑦ 東京競馬場内外の博物館専用看板を有効に活用し、競馬場来場者等への博物館誘導を図りました。
- ⑧ ホームページの最新情報・展示情報を随時更新し、展示およびイベント開催告知を図りました。また、JRA 競馬博物館公式 Facebook にて適時、情報を発信しました。

- ⑨ インターネットミュージアムをはじめ、ネット媒体にも積極的に情報を掲載し、来館者の誘致に努めました。
- ⑩ オリジナルカレンダーを制作し、入館者に配布するとともに、報道関係者・府中市内の各種機関・競馬関係者等に配布しました。

3 Gate J. 新橋・梅田

- ① 施設等の案内リーフレット、オリジナルグッズおよびパンフレット等を Gate J. や JRA 競馬場等のイベント開催時に効果的に配布し、広報活動の一助としました。
- ② ホームページに最新のイベント情報等を随時更新するとともに Gate J. イベント等の動画配信など情報提供の充実を図りました。
- ③ 館内大型モニターを活用して、馬の博物館・競馬博物館の商業フィルムおよび特別展の開催告知等を放映しました。
- ④ JRA 競馬場のターフビジョンや ITV、グリーンチャンネルにおいて、Gate J. 新橋・梅田の商業フィルムを放送しました。
- ⑤ 新橋開館 10 周年を記念して、グリーンチャンネル番組「草野仁の GateJ. +」と連携したイベントや 10 周年オリジナルグッズの販売、サンクスセール等を実施しました。

V JRA 賞馬事文化賞候補作品の情報収集

JRA から業務委託を受けて、JRA 賞馬事文化賞の候補作品の情報収集および選定補助業務を実施しました。

VI 寄附金・募金の受入れ状況

令和元年度においては、在来馬保護のため総額 1,690,797 円の寄附金を受入れました。

① 在来馬保護チャリティーイベント

実施日	実施場所	内容〔派遣馬〕	募金額（円）
4.6～4.7	阪神 RC (桜花賞)	Gate J. Presents ミカン・サンゴ	210,337

5.11～5.12	東京 RC (ヴィクトリア M)	Gate J. Presents ミカン・サンゴ	340,301
6.29～6.30	福島 RC (ラジオ NIKKEI 賞)	Gate J. Presents ミカン・サンゴ	100,454
10.19～10.20	東京 RC (京都・菊花賞)	Gate J. Presents ミカン・ゆき	328,479
11.16～11.17	京都 RC (マイル CS)	Gate J. Presents ミカン・サンゴ	204,136
合 計			1,183,707

② 在来馬保護チャリティー募金(馬の博物館設置)

1月～12月 合計 250,411円

③ その他の在来馬保護のための寄附金

受入日	寄附金額 (円)
2.12	246,679
12.27	10,000
合計	256,679

Ⅶ 庶務

1 評議員に関する事項（令和元年12月31日現在）

氏名	就任日	退任日
井上 謙吾	H25. 1. 4	
岡部 長忠	H25. 1. 4	
澤野由紀子	H25. 1. 4	
山崎 毅紀	H25. 1. 4	
川崎 泰彦	H28. 4. 4	
臼田 雅弘	H31. 4. 1	
吉崎 一郎	H29. 3. 21	H31. 3. 31

2 役員等に関する事項（令和元年12月31日現在）

(1) 役員

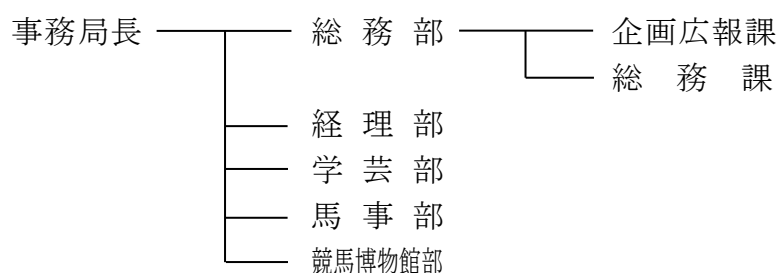
役職名	氏名	就任日	退任日	備考
理事長	小畠 薫	H29. 3. 1		
専務理事	荒木喜一郎	H26. 9. 16	H31. 3. 31	
常務理事	山野辺 啓	H31. 3. 28		
理事	大井 俊雄	H28. 2. 25		非常勤
理事	栗田 晴夫	H28. 2. 25		非常勤
監事	平野 浩章	H29. 3. 21		非常勤
監事	石井 秀司	H30. 2. 23		非常勤

(2) 参与

氏名	就任日	退任日	備考
長塚 孝	H31. 4. 1		
真家 眞	R1. 7. 24		
末崎 真澄	H30. 2. 24		非常勤
富岡 義雄	H26. 3. 1	R1. 8. 31	非常勤

(3) 職員および組織図

職員 21 名、嘱託 2 名で組織図は以下のとおりです。



3 評議員会および理事会

(1) 評議員会

回数	開催日	議決事項等	評議員		議決の結果
			現在数	出席数	
1	2.22	①平成30年度事業報告書について	6名	4名	全員賛成
		②平成30年度貸借対照表および正味財産増減計算書等について	6名	4名	全員賛成
		③定款の一部改正について	6名	4名	全員賛成
		④評議員および役員の報酬等の支給に関する規程の一部改正について	6名	4名	全員賛成
2	書面決議 3.12	①当財団理事として山野辺啓様を選任することについて	6名	6名	全員賛成
		②当財団評議員として臼田雅弘様を選任することについて	6名	6名	全員賛成
3	12.4	①令和2年度事業計画書について	6名	5名	全員賛成
		②令和2年度収支予算書について	6名	5名	全員賛成
		③定款の一部改正について	6名	5名	全員賛成
		④評議員および役員の報酬等の支給に関する規程の一部改正について	6名	5名	全員賛成
		⑤理事および監事の報酬等の総額について	6名	5名	全員賛成

(2) 理事会

回数	開催日	議決事項等	理事		議決の結果
			現在数	出席数	
1	2.7	①平成30年度事業報告書について	4名	4名	全員賛成
		②平成30年度貸借対照表および正味財産増減計算書等について	4名	4名	全員賛成
		③定款の一部改正について	4名	4名	全員賛成
		④評議員および役員の報酬等の支給に関する規程の一部改正について	4名	4名	全員賛成
		⑤特別退職手当の支給について	4名	4名	全員賛成
		⑥第1回評議員会の開催について(報告事項)	4名	4名	全員賛成
2	書面決議 3.6	①当財団理事として山野辺啓様を選任するよう各評議員に提案することについて	4名	4名	全員賛成
		②当財団評議員として臼田雅弘様を選任するよう各評議員に提案することについて	4名	4名	全員賛成
3	3.28	①常務理事の選定について	5名	5名	全員賛成
		②常務理事の業務の執行について	5名	5名	全員賛成

4	11.20	①令和2年度事業計画書について	4名	4名	全員賛成
		②令和2年度収支予算書について	4名	4名	全員賛成
		③定款の一部改正について	4名	4名	全員賛成
		④評議員および役員の報酬等の支給に関する規程の一部改正について	4名	4名	全員賛成
		⑤理事および監事の報酬等の総額について	4名	4名	全員賛成
		⑥第3回評議員会の開催について (報告事項)	4名	4名	全員賛成
		①理事長および常務理事による職務の執行状況について			